

受賞の喜び

教育功労者顕彰 表彰状
音楽連盟
NPO法人習志野第九合唱団
理事長 川谷 聡

昨年十二月、習志野文化ホールのこけら落とし公演から数えて四十四回目、現ホールでの最後となる習志野第九演奏会となりました。

演奏会は当初は市の直営事業で、いわば行政主導型演奏会でしたが、今から十七年前に市の意向もあり、私が中心となって合唱団をNPO法人化しました。

以後第三十回演奏会より合唱団が主催者となり、市民主導型で演奏会を続けることができましたが、これは法人の役員始め関係者全員の力で成し遂げたことです。この度、代表者として表彰状を頂戴したことに大いに感謝するとともに、現在の習志野文化ホールの最終年度と重なったことに大変感慨深いものがあります。今後は開催場所を変えての習志野第九演奏会となりますが、芸術文化協会のお力を借り



習志野市教育功労者顕彰式
習志野市美術会
理事 細谷 雅男

ながら、音楽のまち習志野の象徴的演奏会が今後も続くよう努力してまいります。

この度芸術文化協会より、ご推薦をいただきまして教育委員会より、教育功労者顕彰をいただき身に余る光栄と深く感謝申し上げます。

定年を迎え趣味の写真を続けるため地域の写真クラブに入会し後に習志野市写真連名に入会。

「市展教育長賞を受賞」連盟より推薦され美術会に入会。以後美術会理事に就任し皆様の協力を得て習志野市の芸術文化発展に微力ながら今日まで頑張つて参りました。今後は美術会発展のため関係諸氏のご指導を受けて作品作りを続けるつもりです。

習志野市美術会も平成九年に発足。今年第三十回記念美術展覧会を開催致します。五年毎に開催しています受賞者選抜展も開催されます。習志野市美術展覧会の作品を是非皆様にご覧頂ければ幸いです。

令和五年度事業計画案

- *第三十九回芸術祭
四月十四・十五・十六日
会場・習志野市民ホール
・モリシアホール
・モリシア津田沼一階
- *習志野市芸術文化協会通常総会
五月十六日
- *市展
九月十四日～二十四日
会場・モリシアホール
- *市展受賞者選抜展
十月三十一日～十一月二日
会場・市庁舎展示スペース
- *習志野市芸術文化協会だより
第六〇号発行 九月
第六十一号発行 六年三月
- *市民文化祭
十一月四日～十一月二十五日
会場・習志野市民ホール
・モリシアホール
・サンロード六階
- *習志野市民まつり参加
*視察研修
十一月
*歳末チャリティバザー
十二月
会場・モリシア津田沼一階
- *第四十四回習志野第九演奏会
十二月二十四日
- *新年会員交流会
令和六年一月十五日

令和五年度事業開催会場について

習志野文化ホールが令和五年三月三十一日をもって長期休館することに伴い、四月よりの事業開催会場も変わります。上記事業計画案に記載のようにプラッツ習志野市民ホール・モリシアホール・サンロード六階を予定しております。引き続き皆様の活動が円滑に活発に続きますよう、事務局がサポートしてまいります。慣れ親しんだ会場で開催できないという事は、これまでの企画・運営方法とは異なり工夫が必要になりますが、芸術文化の灯を縮小することなく活動も継続されますことを願っております。尚、他市で開催されます各団体の公演に対しても会場費の補助を検討しております。四月になり、活動補助金要項を市内、市外会場使用予定の団体の皆様に文書で、またホームページでもお知らせいたします。

習志野俳句会

- 絵すころく西へ東へ城めぐり 明美
- 水仙のきりつと風に吹かれをり 和子
- いには野の寒ゆるびをり鶯の笛 かなな
- 初風や伊根の舟屋にかもめ舞ふ 恵
- 雪待つてをり雪吊のどの松も 世都
- また一人「今年限り」の賀状着く 武雄
- 風花日和金閣寺銀閣寺 武
- ダイヤモンドダスト鐘の音はるかより 藤香
- 春灯や町屋の窓の細格子 弘子
- 寺町の大きな瘤の冬不立 昌代
- 初夢のホップステップ宙を舞ふ 真理子
- 茶の花や白湯にも似たる母のこと 操

新年会員交流会

習志野市芸術文化協会
会計 北村 佳代

令和五年一月十六日(月)、グリーンタワー幕張にて、三年振りに芸術文化協会新年会員交流会が開催されました。オープニングステージでは、洋舞連盟のハラウオケアラロゼラニの七名による華やかなフラダンスに魅了されました。ハワイで文字が無かった時代に踊りで語り継がれた文化を表現されているようで、とても興味深く拝見しました。

総合同会の澤田副会長の進行により宴が進み、小笠原副会長の開会の言葉に続いて、参加者全員でマスク着用のまま習志野市歌を歌いました。

中谷会長の挨拶に続き、宮本市長はじめ来賓の方々から祝辞を頂戴し、坂東監事よりご来賓の方々に紹介させていただいた後、社会福祉協議会へ心ばかりの寄付金を贈呈致しました。続いての交流会は、習志野文化ホール植松理事長による乾杯のご発声で幕を開けました。コロナ対策として席の間隔が広くとられており、お食事はあらかじめ取り分けられたものを各自に提供したり、歓談の際はマスクを着用するなど注意を払



いながら宴を楽しみました。そして交流会は、福引、カラオケへと進み、福引の景品には、令和五年三月をもって長期休館に入る習志野文化ホールのオリジナルグッズ第一弾として作られた日本酒とワインが提供されました。未来のホールに向けて乾杯できるとよいですね。楽しい時間はあっという間に過ぎていき、締めくくりは全員で会場いっばいに輪になって、習志野音頭を踊りました。沢山の方々にご出席いただいた交流会は、三年ぶりというブランクを感じることなく、無事終える事ができました。今年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。

3年ぶりの視察研修会(報告・雑感)

芸術文化協会 監事 坂東 一二三

令和四年十一月十七日、すばらしい秋晴れの中、コロナ感染防止のため中止しておりました視察研修会が実施されました。朝八時、ユーモア溢れる市長のご挨拶の後、教育長をはじめ芸文協関連の市職員の方たちに見送られ市庁舎を出発。一路、バスにて茨城へと向かいました。車中では皆さんとビンゴゲームに興じ、途中、今を盛りと咲く菊で飾った昔懐かしい菊人形の展示館を車窓より見学。その後、最初の目的である笠間日動美術館に到着しました。この美術館は、一九七二年に日動画廊創業者の長谷川仁氏が自身の郷里である笠間市に開館した美術館です。画家・鴨居玲の油彩画

やデッサンなどを展示した「鴨居玲の部屋」のほか、ピカソや藤田嗣治など国内外の著名画家の作品展示や野外庭園など見どころが多く、時間がいくらあっても足りないほどです。なかでも静かな庭園は日頃の忙しさを忘れさせてくれる癒やしの空間でした。お楽しみの昼食は、那珂湊でいただきました。美味しい海の幸に満たされ、一同の気分も盛り上がったところで、次は市場でのお買い物です。名産物の並ぶ品揃えに、あれもこれもと思わず手がのびてしまいました。最後の見学地



は、大洗にあるかねふくの明太子工場「めんたいパーク」でした。こちらは、工場見学の後に明太子の試食やお土産の購入もできることで、人気の観光地となっているようです。私も何かお土産を買おうと思いついてみると、突然、鐘の音が大きく鳴り響きました。なんと私たちの仲間のお一人が、お買い物で一等賞を当てたのです。私も大変うれしくなり、その場にいた皆さんと一緒に手を叩いて喜び合いました。その後、道の駅「いたこ」での休憩をはさみ、バスは帰路へとつきました。最後には前会長山本様よりサツマイモの差し入れまでいただきました。ありがとうございました。皆さま、お疲れ様でした。